

第85回定時総会・205回理事会を開催

「2018年度事業実績・2019年度事業計画」などを審議

評議員2氏を新たに委嘱するなど2019年度の体制整う



議事を進行する内山田会長（前列左から5人目）

第 85回定時総会では、審議に先立って内山田竹志会長が挨拶し、税制に加え、「重大事故が続発している交通事故への対応や、自賠責保険料積立金約6,000億円の早期繰り戻しの実現、子どもたちや若者をはじめとしたクルマ好きの育み、また自動車業界の地位・好感度向上に向けた取り組みなど、重点事業をさらに押し進めていきます」と、意欲的に取り組んでいく方針を示した。この後、内山田会長を議長に選出し、議案の審議に入った。総会・理事会の議案については、第81回運営委員会および第204回理事会でそれぞれ書面審議のうえ、5月上旬までに原案通り承認されている。

総会では、事務局から山岡正博専務理事が「2018年度事業実績・2019年度事業計画」、「2018年度決算・2019年度予算」、「理事選任」の3議案についてそれぞれ説明。審議の結果、3議案はいずれも原案通り承認された。これにより、退任した小林義信理事に代わって橋本勝也理事が就任した。続く第205回理事会では、内山田会長の議事進行の下、日本自動車車体工業会の木村昌平会長が、日本通運の浜島和利執行役員が新たに評議員として委嘱され、今年



3議案が審議された第85回定時総会

度の内山田体制が整った。

事業計画では、「自動車総合団体として果たすべき役割・事業を改めて整理する」として、道路・環境、交通安全、保険、法制、人材、特別の6委員会を新設の「道路・交通委員会」と「経済・産業委員会」の2委員会に集約。ビジョン・ミッションを定め、取り組むべく事業を重点化し、機動的に諸課題に取り組む体制づくりに努め事業を展開していく。
◇事業方針と重点項目は次の通り。

内山田 竹志会長 ご挨拶

新しい時代「令和」が幕を開けました。その中で、われわれ自動車産業は「100年に一度」とも言われる大変革期の真っ只中にいます。新たな時代を迎えた今、皆さまと共に、明るく輝かしい未来と日本を創造してまいりたい、との思いを新たにしております。



ご承知のように、昨年は税制抜本改革の「勝負の年」と位置づけ、全国の自動車業界が一枚岩となり、ユーザーの皆さまも巻き込んだ活動を展開いたしました。その活動が実を結び、税制改正大綱では、悲願でありました自動車税の恒久減税が実現し、車体課税の抜本改正に向けて、大きな一歩を踏み出しました。

しかしながら、税制抜本改正に終止符が打たれたわけではなく、まだまだ課題は残されたままです。当会議所は、中長期的な課税のあり方も視野に入れながら、「自動車関係諸税の負担

軽減・簡素化」の実現に向け、引き続き、皆さま方と一丸となって取り組んでまいります。

また、こうした恒久減税と共に、環境性能の軽減措置、エコカー減税の延長などを、業界が一緒になってしっかりと消費者の皆さまにアピールし、需要の底上げに努めてまいりたいと考えております。

税制に加えて、重大事故が続発している交通事故への対応や、自賠責保険料積立金約6,000億円の早期繰り戻しの実現、子どもたちや若者をはじめとしたクルマ好きの育み、また自動車業界の地位・好感度向上に向けた取り組みなど、重点事業をさらに押し進めていきます。

今年度に入り、新たに3法人の皆さまを会員に迎え、本日もご出席いただきありがとうございます。新しい業態の会員の皆さまからのご意見もいただきながら、私どもは活動をさらに強化してまいります。

それでは、自動車会議所が果たすべき役割の原点に立ち返り、前年度の取り組みを総括し、今年度の計画を取りまとめましたので、活発なご審議をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

【事業方針】

(1) 果たすべき役割・事業の整理

国内市場の停滞が続く一方、外部環境の変化は極めて速く、自動車総合団体として果たすべき役割・事業をあらためて整理する

(2) 事業の重点化と機動的取り組み

2017・18年度事業実績も踏まえ、取り組むべき事業を重点化し、関係業界の支持・支援の下、機動的に諸課題に取り組む体制を構築する

(3) 業界の連携強化

日本自動車会館をベースとした会員・業界間の連携強化を継続する

【重点項目】

1) 組織運営

- 目指すべき姿とやるべき事業分野（ビジョン・ミッション）の定義
- ビジョン・ミッションに沿った事業展開と体

制構築

- 従来事業の適正化

2) 税制

- 消費税引き上げ、2019年度税制改正に係る影響・市場動向フォロー
- 軽減・簡素化要望継続し「中長期的な視点」論点整理、今後に向けた調査

3) 交通安全

- 業界の取り組みPR・具体的な事故対策に貢献しうる新規施策の検討

4) 保険

- 自賠責保険6,000億円繰入金の返済要望・必要な陳情・理解活動の継続

5) クルマ好き拡大

- 会議所ホームページなどクルマ情報提供の充実（東京モーターショー・東京オリパラ視野）
＝懇親会の模様は7月号に掲載します＝